

科目「簿記」学習指導案

学 校 名	茨城県立石下紫峰高等学校	指 導 者	教諭 ○○○ ○○○
指 導 日 時	平成 27 年 6 月 4 日 (木) 第 限	場 所	2-2 教室
対 象 生 徒	2 年次自由選択科目 科 2 年		組・コース 1 2 人
科 目 名	簿記	使用教科書	簿記 東京法令 出版

1 単元(題材)名

第Ⅱ編 第1章 現金・預金の記帳

2 単元(題材)の目標

- ・簿記上、現金として取り扱われるものにはどんなものがあるか理解させる。
- ・現金に関する取引の内容について理解させる。
- ・現金出納帳の役割を理解させ、その記入方法を習得させる。

3 単元(題材)について

(1) 教材観

簿記に関する知識と技術を習得させ、現金や小切手といった仕組みを理解させるとともに、現金出納帳の意味と記入の仕方を習得させる。

(2) 生徒観

簿記に興味を持つ生徒も多く、お金の話や身近なことを関連付けると理解できる。しかし、演習する時間が少ないため、実務的な知識と技能が身に付いていない。

(3) 指導観

現金と言えば何が思いつうのか答えさせ、その他に小切手などもあることを促す、実際に教科書のサンプルを見せ理解させる。現金出納帳に関しては、教科書や問題集を使い記入の仕方を覚えさせ、現金の意味や現金出納帳の作り方が身に付く。

4 単元(題材)評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
商品売買取引など個人企業における基本的な取引の記帳は、どのように行うのかについて関心をもち、自分から進んでまとめ、問題演習に取り組もうとする。	なぜ、このように仕訳するのか、なぜ、補助簿はこのように記入するのか、補助簿の役割は何かなどについて、考えている。	商品売買取引など個人企業における基本的な取引の仕訳、総勘定元帳への転記、各種補助簿の記入など、取引の記帳に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	商品売買取引など個人企業における基本的な取引の構造を理解し、取引の記帳に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

5 指導と評価の計画(学習計画)

時	主な学習活動	指導及び留意点	関	思	技	知
1	簿記上の現金とされるものには、通貨と小切手があることを理解する。	現金以外の教科書のサンプルや資料を用意し通貨以外の現金になるものを用意する。	○	○		
	現金に関する現金出納帳の記帳方法について理解する。	何のために現金出納帳を作成するのか説明する。作成練習のためにプリントを用意する。	○		○	
1	現金過不足の意味を理解させ、その記帳方法を習得する。	現金の実際有高が帳簿残高より不足していたり過剰であったりすることがあるので、両方のパターンの問題を用意する。	○	○		
1	当座預金の役割、小切手のしくみ、当座預金に関する取引の内容を理解する。	当座預金は、取引銀行との当座取引契約であることを理解させる。また、小切手はいろいろな支払い手段として利用されるので、当座預金が関係する問題を作成する。	○			○

6 本時の学習

(1) 本時の目標

教科書を使い、現金とその他の小切手等があることを理解させる。現金出納帳の記入の仕方を習得し、知識・理解を身に付けさせる。

(2) 準備・資料等 (学習に必要なワークシート, 教育機器, 資料等を記入)

現金出納帳のワークシート

(3) 本時の展開 (導入・展開・終末)

時間	学習活動・内容	指導上の留意点 (◎評価)
導入 10	<ul style="list-style-type: none"> ・現金とは何か確認する。 ・通貨のほかには何かがあるか確認する。 ・教科書に付いている小切手のサンプルを見る。 ・現金に関係する現金出納帳の意味を教科書を見て覚える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・余計なことをしないように、生徒一人一人に答えさせる。 ・生徒一人一人に聞き、出てきた言葉を黒板に板書し簿記で関係するものを確認させる。 ◎関心・意欲・態度 ・全員がサンプルを見ているか確認し、本物も似たような物だと解説する ・補助簿的な役割をする帳簿であること、相手先や取引内容を記録することも確認させる。
展開 30	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集の仕訳を解く。 ・問題集の現金出納帳の記帳方法について説明を聞きながら解答する。 ・次月繰越及び前月繰越について説明を聞きながら解答する。 ・合計線と締め切り線の意味について、説明を聞きながら線を引く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4～5分で解くように指示する。時間が過ぎたら確認の意味もかねて生徒一人一人に答えさせ板書する。 ◎思考・判断・表現 ・日付、摘要、収入か支出、最後に残高の順番で記入する事を理解させる。また、日付の順番に記入しないと、間違いやすいことも指示する。 ・収入と支出の合計を出し、その差額を「次月繰越」として赤で書くことを解説する。また、月末の残高が次月に繰り越される額だと理解させる。 ◎思考・判断・表現 ・合計線は、収入と支出の間に引き、締め切り線は収入から残高まで引く事を理解させる。また、日付にも締め切り線を引くことを指示する。 ◎思考・判断・表現
終末 10	<ul style="list-style-type: none"> ・自作のワークシートを使い本日学習した内容の復習をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・机間巡視し、生徒の様子を確認しながら黒板にヒントを出し内容の定着を図る。